

1. 貨物自動車運送事業に対する規制の検証

国土交通省自動車交通局

貨物自動車運送事業の現状と課題

【規制の見直しと貨物自動車運送事業の動向】

貨物自動車運送事業は、輸送トンキロでは貨物輸送全体の44%（トラック輸送の84%）を占めるなど、産業や国民生活を支える物流の中核として機能しており、物流ニーズの高度化や多様化に対応。

平成2年から施行された貨物自動車運送事業法により、需給調整規制を廃止し、許可制のもとで参入規制が事実上緩和したほか、運賃を認可制から事前届出制に緩和。

また、平成15年の貨物自動車運送事業法の改正において、営業区域規制を廃止したほか、運賃を事後届出制に再緩和。

平均2000事業者以上が毎年新規参入。平成2年度から平成15年度までに約2万事業者が増加。（48%増）

大手事業者は一部存在するが、99.9%は中小企業。新規事業者の増大により、零細事業者の比率が増大。

市場での競争は激化し、これに伴って実勢運賃は大幅に低下。

【貨物自動車運送事業者の経営環境】

総物流量の減少、経済の停滞が続くとともに、荷主 元請事業者 下請事業者という従属的な取引関係と優越的地位のもとで物流コストの削減要請もあり、継続的に実勢運賃が低下し、収益が減少。貨物自動車運送事業の経営環境は厳しい状況。

廃業等による退出事業者数が増加。（平成15年度1085事業者）

中小企業信用保険法の特定業種（中小企業者の相当部分の事業活動に支障が生じていると認められる業種）として指定され、信用保証協会の特例保証の対象に。平成10年から現在まで、指定は継続中。

平成16年、下請法が適用され、貨物自動車運送事業における元請事業者と下請事業者間の取引が下請法の対象に。同時に、独占禁止法の特例指定を受け、特定荷主と事業者間の取引が独禁法のガイドラインの対象に。

最近において、社会保険の未加入問題が顕在化。

【安全の確保、環境規制への対応等の課題】

飲酒運転、スピード違反といった交通違反のほか、過労運転、過積載等による交通事故の発生は減少を示していない。重大事故の比率が高く、トラックによる事故が、高速道路での死亡事故の過半を占める。

交通事故件数については、平成2年度の23968件が平成15年度の32490件に増加。（36%増）

スピードリミッターの装着を義務付け（平成15年9月から）。大型トラックに係る免許制度の区分を細分化（平成19年度から）。

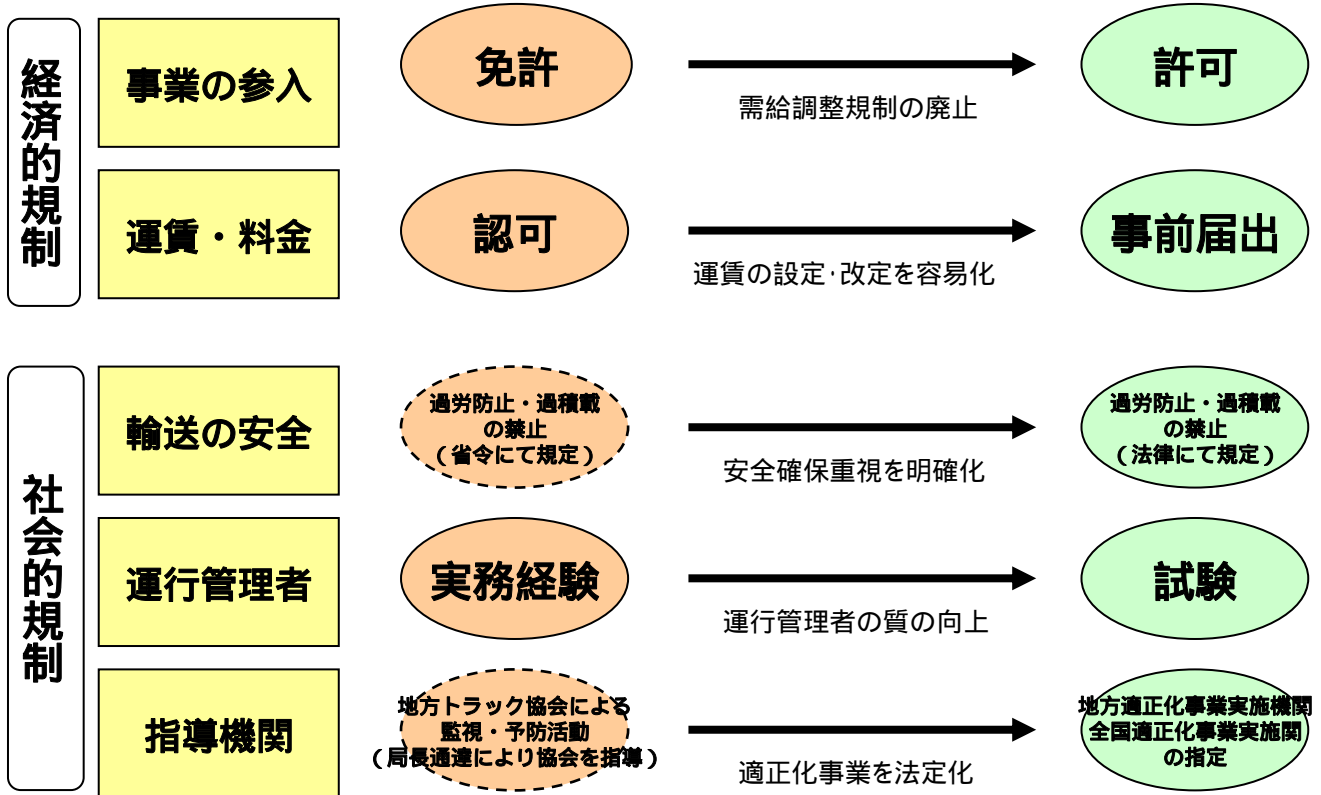
NOx・PM法、条例による環境規制のため、車両代替等の対応がトラック事業者には不可欠となっているが、その負担が経営に重圧。

NOx・PM法の車種規制により、本年度から平成18年度にかけて営業用トラック27万台の買替えが必要。

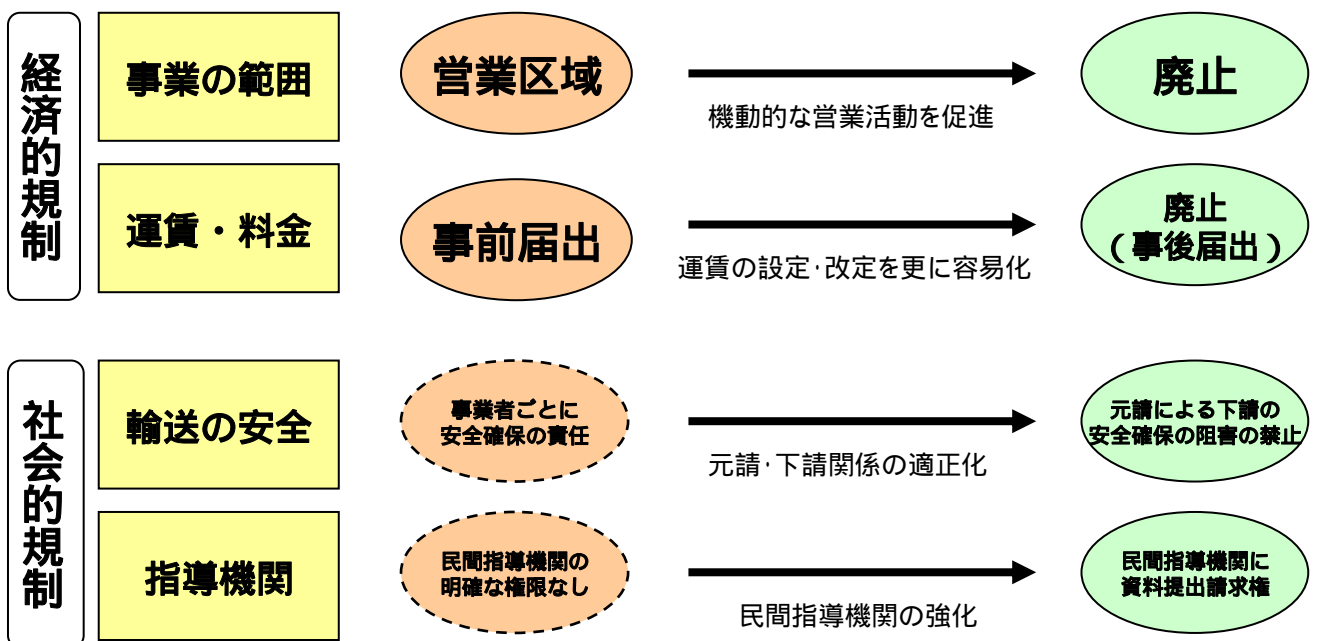
地球温暖化に伴う対応が、今後の大きな課題。

規制の見直し

1. 貨物自動車運送事業法の施行（平成2年12月～）

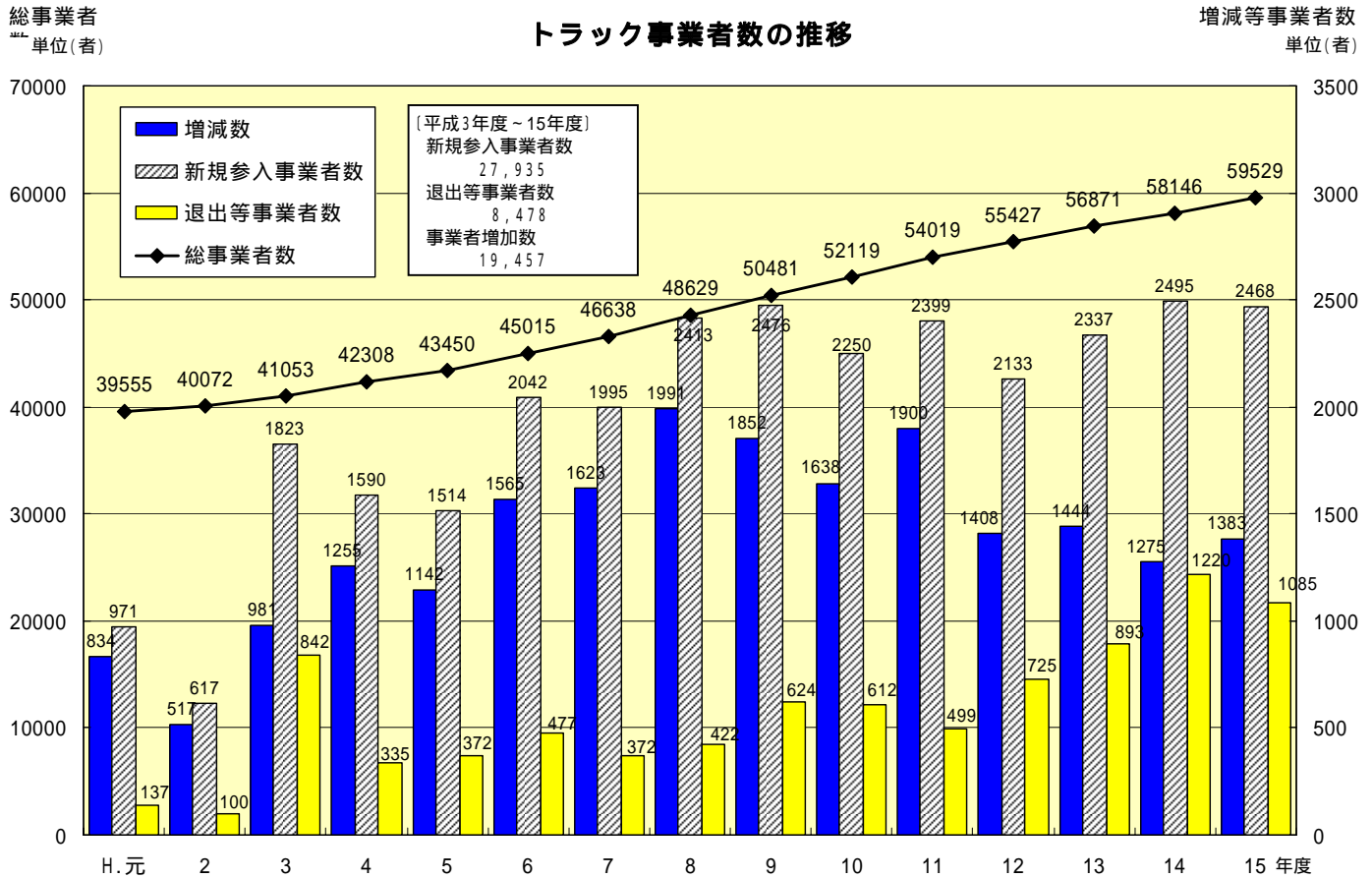


2. 貨物自動車運送事業法の改正（平成15年4月～）



1. トラック事業の推移

(1) 事業者数の推移



(2) トラック事業の推移

| | 平成2年度 | 平成5年度 | 平成10年度 | 平成11年度 | 平成12年度 | 平成13年度 | 平成14年度 |
|-------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 事業者数(者) | 40,072(100) | 43,450(108) | 52,119(130) | 54,019(135) | 55,427(138) | 56,871(143) | 58,146(145) |
| 従業員数(千人) | 1,144(100) | 1,176(103) | 1,195(104) | 1,190(104) | 1,156(101) | 1,173(103) | 1,160(101) |
| 車両台数(千台) | 883(100) | 975(110) | 1,088(123) | 1,091(124) | 1,105(125) | 1,102(125) | 1,095(124) |
| 営業収入(十億円) | 104,214(100) | 121,586(117) | 117,728(113) | 113,484(109) | 113,332(109) | 110,754(107) | 114,818(111) |
| トンキロ(億トンキロ) | 1,942(100) | 2,049(105) | 2,356(121) | 2,456(126) | 2,556(131) | 2,598(134) | 2,618(135) |
| 営業収入/トンキロ | 100 | 111 | 93 | 86 | 83 | 79 | 82 |

資料出所 国土交通省建設管理課「陸運統計要覧」

車両台数には 特種(殊)用途車は含まれない

()内の数字は平成2年度を100としたときの指数

営業収入/トンキロの数値は平成2年度を100とした場合の指数の推移

2 . 事業規模別各種指標

(1) 車両規模別事業者数

| 事業者数(者) | | 平成5年度 | | 平成13年度 | | 平成14年度 | | 平成14年度 / 平成13年度 | 平成14年度 / 平成5年度 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----------------|----------------|
| 車両規模別 | 全体 | 43,450 | 100.0% | 56,871 | 100.0% | 58,146 | 100.0% | 102.2% | 133.8% |
| | 1～10台 | 15,230 | 42.7% | 28,260 | 49.6% | 29,436 | 50.6% | 104.2% | 193.3% |
| | 11～20 | 11,855 | 27.3% | 14,085 | 24.8% | 14,159 | 24.4% | 100.5% | 119.4% |
| | 21～50 | 9,919 | 22.8% | 10,971 | 19.3% | 10,961 | 18.9% | 99.9% | 110.5% |
| | 51～100 | 2,371 | 5.5% | 2,671 | 4.7% | 2,675 | 4.6% | 100.1% | 112.8% |
| | 101台以上 | 774 | 1.8% | 884 | 1.6% | 883 | 1.6% | 99.9% | 114.1% |

資料出所 国土交通省情報管理部「陸運統計要覧」

(2) 車両規模別経営指標(平成14年度)

| 区分 | | 営業収益 (1社平均千円) | | 経常利益率 (%) | 従業員数 (1社平均人) | | 車両台数 (1社平均台) | | 車両台数 / 従業員数 |
|-------|--------|------------------|-----|--------------|-----------------|-----|-----------------|------|-------------|
| 車両規模別 | 全体 | 236351 | 97% | 0.5 | 27.0 | 98% | 23.8 | 101% | 0.9 |
| | 1～10台 | 60619 | 97% | 1.4 | 9.5 | 99% | 7.0 | 99% | 0.7 |
| | 11～20 | 140142 | 96% | 0.5 | 17.6 | 97% | 15.1 | 101% | 0.9 |
| | 21～50 | 305797 | 95% | 0.9 | 34.4 | 97% | 30.5 | 100% | 0.9 |
| | 51～100 | 685844 | 94% | 1.0 | 69.3 | 95% | 65.8 | 100% | 0.9 |
| | 101台以 | 1340881 | 98% | 0.5 | 133.8 | 95% | 126.4 | 97% | 0.9 |

資料出所 全日本トラック協会「経営分析報告書 - 平成14年度決算版 - 」

表中の%は対前年度(平成13年度)比

3 . 労働環境 (平成15年度)

| | トラック事業 | 全産業 | トラック事業 / 全産業 |
|-------------------|---------|---------|--------------|
| 労働時間(1人平均年間実労働時間) | 2,192 | 1,846 | 1.19 |
| 賃金(平均月額) | 328,094 | 389,664 | 0.84 |
| 死傷年千人率 | 9.2% | 2.6% | 3.5 |
| 中小企業比率 | 99.9% | 99.2% | 1.01 |

資料出所 厚生労働省「毎月勤労統計調査」、厚生労働省安全衛生部

死傷年千人率のみ平成14年度のもので、死傷年千人率 = 年間死傷者数 / 年間平均労働者数 × 1000

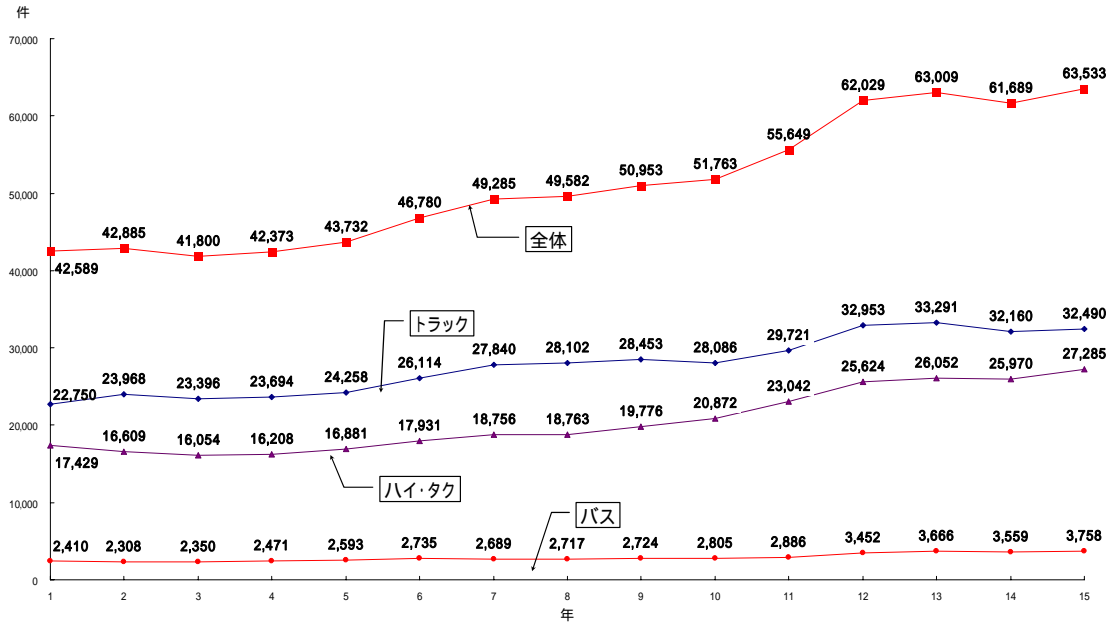
4 . 事後チェック状況

| | 平成14年度 | 平成15年度 | 平成15年度 / 平成14年度 |
|--------------|--------|---------|-----------------|
| 監査件数 | 4,544 | 4,918 | 1.08 |
| 行政処分等件数 | 2,407 | 2,667 | 1.11 |
| 車両使用停止(延日車数) | 81,813 | 100,559 | 1.23 |
| 巡回指導件数 | 21,920 | 23,195 | 1.06 |

資料出所 国土交通省自動車交通局貨物課

巡回指導件数は適正化事業実施機関によるもの。

事業用自動車の業態別交通事故件数の推移



事業用自動車の業態別死亡事故件数の推移

